

## 令和3年度 西原町平和事業

住民を巻き込んだ悲惨な地上戦を体験した沖縄。西原町は沖縄戦の激戦地となり、住民の約半数に及ぶ尊い生命と多くの財産、そして貴重な文化遺産や自然を喪失しました。そのため、町民が抱く反戦平和を希求する心は、とりわけ強いものがあります。しかし戦後76年が経過する中、沖縄戦の悲惨な体験、戦争の歴史的教訓の継承や、沖縄の人々の平和への願いをどう次世代へ繋げていくかを考え、取り組む必要があります。

西原町では毎年6月を「平和月間」と位置付け、さまざまな平和事業を推進しています。今年は町民への平和の心を醸成するとともに、平和意識の高揚に努めることを目的に、以下の企画展を実施します。

※新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては変更となる場合がございます。予めご了承ください。来場の際は、感染症対策を行っての観覧のご協力をお願いします。

### 「21校の学徒隊」&「チョークアート」展示

- ① 沖縄戦に動員された21校の学徒隊（本島16校、宮古2校、八重山3校）にスポットをあてた展示
- ② 平和の証言から、学徒隊経験者の証言の抜粋・関連資料の展示
- ③ 町内中学生が制作したチョークアートの展示

「平和」をテーマに、中学生が多角的な発想でチョークアートを作り上げた作品を展示

展示期間 6月22日(火)～7月15日(木) 開催場所 西原町中央公民館

※団体での観覧の際は、事前に西原町中央公民館へ連絡の上、ご来場いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ】企画財政課 ☎098-945-4533 / 西原町中央公民館 ☎098-945-3657

「平和資料展」 展示期間 6月18日(金)～6月29日(火) 開催場所 西原町立図書館

平和企画展「西原の戦争」 展示期間 6月15日(火)～7月11日(日) 開催場所 西原町立図書館

【お問い合わせ】西原町立図書館 ☎098-944-4996 / 文化課 文化財係 ☎098-944-4998

本町の字嘉手苅に所在する国指定史跡内間御殿は、琉球王国期の第二尚氏王統最初の王、尚門王を祀るために建てられた神殿（東江御殿）を中心とした祭祀施設です。国の史跡に指定されている範囲内には現在、神殿の基壇や祠、井戸（拜井泉）などの遺構が見られますが、この他にもかつて沖縄戦前には存在していた建造物がありました。これについては、昔の内間御殿について知っているお年寄りたちからの聞き取り調査や、一九四五年四月に米軍が撮影した空中写真から、東江御殿の南東側に位置した（写真①・②）瓦葺きの建物であったことがわかっています。

また、この建物が松山御殿（屋号は松山、前又御殿）と呼ばれていたことや、正月に内間御殿に尚家の関係者が来るときこの建物の控所で茶請けを交代で作ったという情報が得られています。実際にこの建物があつた場所を歩いてみると、赤色や灰色の屋根瓦片がいたるところで見られ、この建物に關係していたと考えられる石列状の遺構も確認することができま（写真③）。

ちなみに、この他に興味深い話として、東江御殿の本門の鍵は松山御殿が持っていたことや琉球最後の国王である尚泰王の四男、尚順男爵が内間御殿に時々来ていたという話が得られています。この建物についてはこれ以上の情報はなく、未だ謎に包まれています。内間御殿に關連した施設であったことが

### 文化財コラム

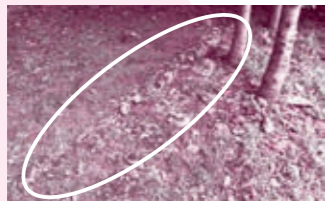
## うちまウドゥン 内間御殿の敷地内にあつた謎の屋敷

わかりません。今後、どのような目的で建てられたもので、どのような外観・構造をしていたのかなど、整備に必要な情報を得られることができれば、将来的には建物の復元が可能となります。この謎の屋敷をはじめ、内間御殿に関する情報や資料（古写真等）をお持ちの方は本町文化課までぜひご連絡ください。

※松山御殿とは、尚順男爵（別称・松山王子）のことや、その屋敷（かつて那覇市首里桃原町に所在していた建物、敷地）のことを指す名称。しかし、聞き取り調査で得られた内容からは、松山御殿に關係する人たちが、または、その人たちが住んでいた建物という意味合いで、このように呼んでいたと推察される。



②謎の屋敷があつた場所



③石列状の遺構



①内間御殿敷地正面  
（※謎の屋敷があつた位置）

お問い合わせ

文化課 文化財係  
☎944-4998

## わったー! まちの話題 Topics in the Town



イベント  
フォトギャラリー

4月  
23日  
(金)

### 沖縄県で初! 青年海外協力隊 特別派遣前訓練生の活動開始



新型コロナウイルス感染症拡大の影響でJICA海外協力隊の海外派遣が延期となったことから、その期間を利用して地域が抱える課題解決や地域コミュニティの活性化に貢献する意識を育むことなどを目的に国内で活動する特別派遣前訓練生として、安田裕哉(やすだ ゆうや)さん、中村仁美(なかむらひとみ)さんの2名が西原町に派遣されました。

4月22日から7月17日の約3か月、町観光まちづくり協会(西原劇場)において、ふるさと納税の返礼品の発掘等や、西原さわふじマルシェへの集客に取り組みます。安田さんは「限りある期間に、成果を残せるように頑張りたい」、中村さんは「地域の方との交流を通して、地域活性化に貢献していきたい」と、それぞれ意気込みを話しました。

5月  
6日  
(木)

### コミュニティ助成事業決定通知式 呉屋自治会



(一財)自治総合センターが行う宝くじ普及広報事業「令和3年度コミュニティ助成事業」の助成団体に呉屋自治会(呉屋弘子(ごやひろこ)自治会長)が決定し、町役場で通知式が行われました。

呉屋会長は、「助成団体に決定して、区民一同喜んでい。エアコンなどを整備することで、快適にコミュニティ活動を行うことができ、さらに地域の活性化につながる」と笑顔で話しました。



4月

### ピカピカの1年生へ お守り贈呈



西原町内の4児童館で活動するファミリークラブ会員の母親たちが、町立4小学校の新一年生の児童へ手作りのお守りをプレゼントしました。お守りは子どもたちの交通安全と健全育成を祈願したもので、子どもたちが「無事におうちへ帰ってくる」ことを願って、カエルのイラストがデザインされています。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、贈呈式は行わず、各小学校の校長先生にお渡ししています。

※ファミリークラブは「町の子はみんなわが子」を合言葉に、児童館を拠点として、子どもたちの健全育成を目指して活動しています。

5月  
7日  
(金)

### 愛の贈りもの 子ども用歯ブラシ寄贈



西原町の将来を担う子どもたちのために活用してほしいと、町内在住の方から子ども用歯ブラシ約3,800本が寄贈されました。各保育園・学童クラブ等を代表して、西原町保育連絡協議会田仲雄二(たなか ゆうじ)会長と西原町学童保育連絡協議会知念涼子(ちねん りょうこ)会長へ贈られました。田仲会長は「歯ブラシを使う幼児に歯磨きを習慣づける良いきっかけとなる」と話し、知念会長は「沖縄県はむし歯になる子が多い。家庭でも歯磨きを推奨して、むし歯予防をお願いしたい」と感謝を述べました。

※広報紙に掲載する写真については、撮影時のみマスクを外しております。